22. 赤坂小学校区

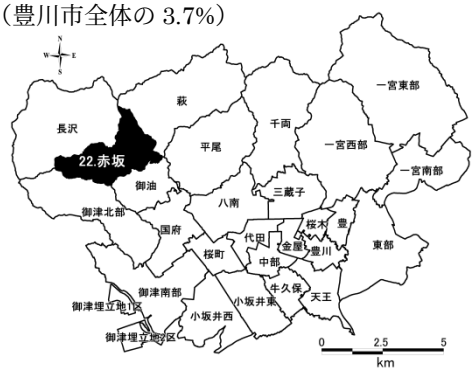
本調査は、愛知県が平成 26 年 5 月に公表した「平成 23 年度～25 年度　愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査」の揺れ・液状化及び浸水・津波の想定に基づいて、豊川市が、市域の被害を小学校区ごとに想定したものです。

－22．赤坂小学校区－
様式１

１．校区の構成
赤坂町、赤坂台

２．校区の概要

校区面積 5.98km²
（豊川市全体の 3.7%）

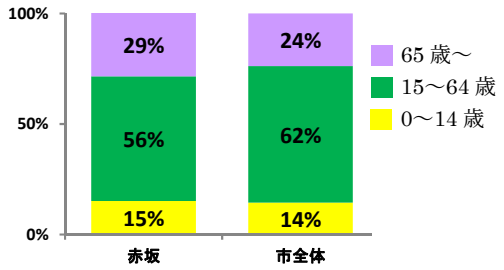


【位置】	赤坂小学校区は、市の北西部に位置している。
【土地】	西部は山地である。そのため、豪雨時、地震時ともに土砂災害の危険性がある。 また、校区内には音羽川が流れ、山陰川と合流している。
【土地利用】	西部は林地が広がる。北部と国道１号線沿い西側に住宅がある。国道１号線沿いには商業用地が並んでいる。国道１号線と東名高速道路に挟まれた地域は主に農地となっている。
【交通】	名鉄名電赤坂駅があり、豊橋駅へ繋がっている。また、東名高速道路、国道１号線、県道大代赤坂線・長沢国府線が通っている。東名高速道路と国道１号線は第１次緊急輸送道路に指定されている。

３．社会条件

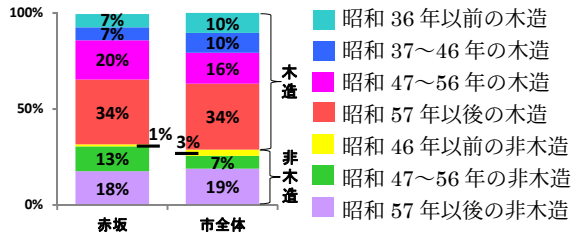
・人口等（2014 年 9 月 30 日）

65 歳～	1,343 人	29%（対校区）
15～64 歳	2,662 人	56%（対校区）
0～14 歳	718 人	15%（対校区）
人口（合計）	4,723 人	3%（対全市）
人口密度	790 人/km²	
世帯数	1,682 世帯	2%（対全市）



・建物棟数（2011 年 1 月 1 日）

木造	昭和 36 年以前	179 棟	7%（対校区）
	昭和 37～46 年	158 棟	7%（対校区）
	昭和 47～56 年	485 棟	20%（対校区）
	昭和 57 年以後	802 棟	34%（対校区）
非木造	昭和 46 年以前	24 棟	1%（対校区）
	昭和 47～56 年	309 棟	13%（対校区）
	昭和 57 年以後	417 棟	18%（対校区）
建物（合計）		2,374 棟	3%（対全市）



４．防災上の課題

・昭和５７年以後に建てられた建物の多い地区ではあるが、被害想定では、全壊・焼失、半壊となる建物の割合は、過去地震最大モデルで約５%、理論上最大想定モデルで約７%となっている。建物被害や人的被害を減少させるためには、昭和５６年以前に建築された建物の耐震診断や耐震改修により建物の耐震化を進めることが必要である。
・高齢者人口の比率が高いため、発災時に高齢者が家具の転倒等により負傷しないよう、高齢者世帯に対する家具転倒防止対策を進めることが必要である。
・火災による建物被害では理論上最大想定モデルで全壊・焼失棟数が６棟となる想定が出ている。火災による人的被害を減らすためには、各家庭での消火器の準備などにより火災を拡大させない対策が必要である。
・校区に山地(急傾斜地)があり、発災時に土砂災害の危険性がある。また、発災後は、急傾斜地の崩壊による道路閉塞により、救援物資の運搬が困難となる可能性があるため、各家庭での飲料水、食料品、医薬品等の備蓄を進めることも重要である。

５．防災関連施設

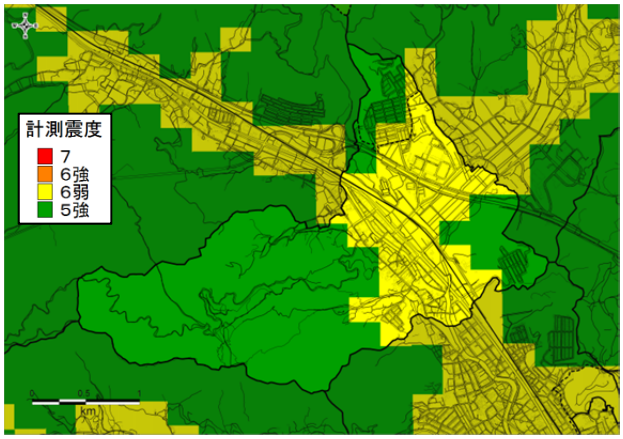
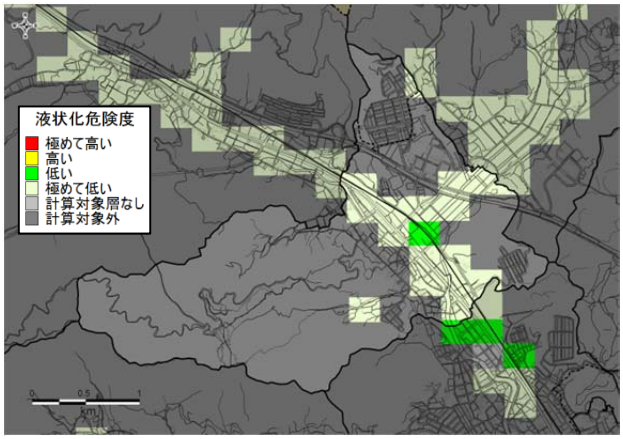
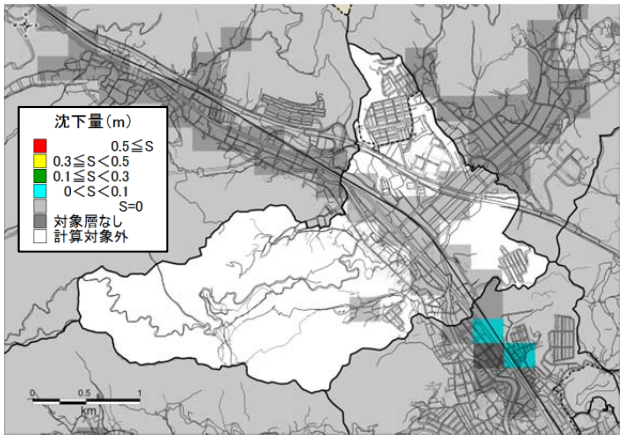
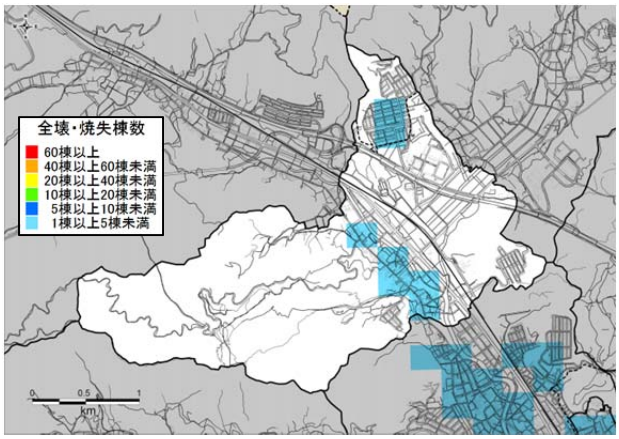
市の防災関連機関	豊川市音羽庁舎	高等学校・その他の学校	
県の防災関連機関		小・中学校	赤坂小学校
国の防災関連機関			音羽中学校
警察署	赤坂駐在所	保育園	赤坂保育園
ヘリポート			赤坂台保育園
飲料水兼用耐震性貯水槽		幼稚園	
消防署		ため池注意箇所	赤坂大池
消防団	赤坂分団	防災倉庫	
病院		同報系防災行政無線	3

６．避難所・避難地等・福祉避難所

		名称	所在地	電話番号	収容場所	収容可能人数[人]		
						長期避難	緊急対応初期	一時避難
避難所(屋内)		音羽中学校	赤坂町西縄手66	88-3208	校舎・体育館	953	1,429	2,860
		赤坂小学校	赤坂町東山140	88-5671	校舎・体育館	635	952	1,906
		赤坂台地区市民館	赤坂台1608	88-2810	―	57	86	173
		音羽文化ホール	赤坂町松本250	88-8010	―	117	182	367
		音羽福祉保健センター	赤坂町狭石1	88-7723	―	112	170	338
		音羽生涯学習会館	赤坂町西裏47-1	80-1357	―	191	292	588
		赤坂台老人憩の家	赤坂台1609	88-2810	―	16	24	48
		老人憩の家みやじ荘	赤坂町紅里42-1	88-6691	―	17	35	52
避難地等	区分	名称	所在地	備考	面積[ha]	収容可能人数[人]（一時避難）		
	避難地(屋外)	赤坂広場	赤坂町紅里地内	―	0.21	1,360		
		赤坂２号公園	赤坂町大日地内	―	0.20	1,300		
		サンヒル赤坂東山中央公園	赤坂町東山地内	―	0.09	580		
		赤坂台１号公園	赤坂台地内	―	0.48	3,120		
		赤坂台２号公園	赤坂台地内	―	0.26	1,690		
		赤坂台３号公園	赤坂台地内	―	0.46	2,990		
福祉避難所	区分	名称	所在地	電話番号	段階	収容可能人数[人]		
	公的福祉避難所	音羽文化ホール	赤坂町松本 250	88-8010	2	58		
	民間社会福祉避難所	おとわの杜	赤坂町東山 12-1	87-9221	3	10		

７．被害予測の結果（図）

【過去地震最大モデルの場合】

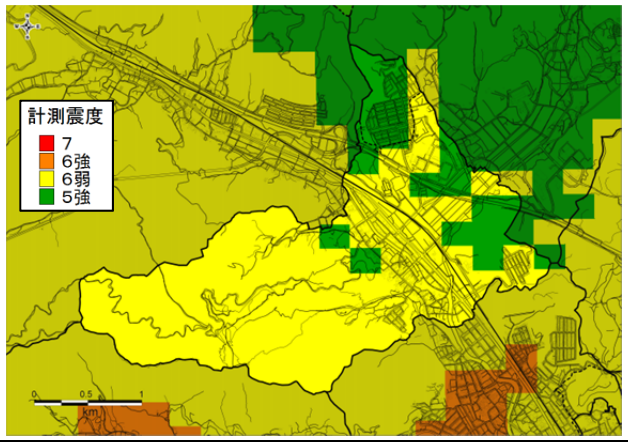
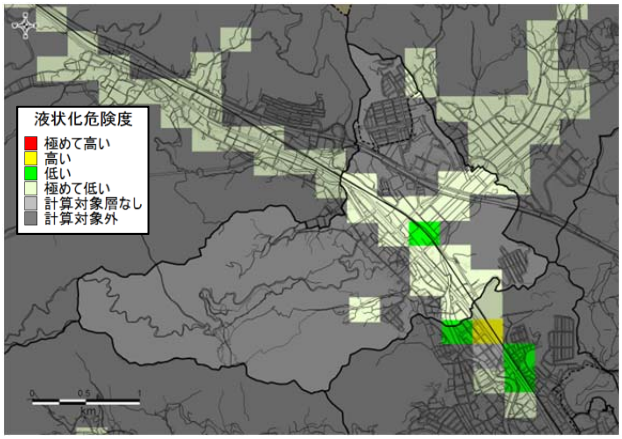
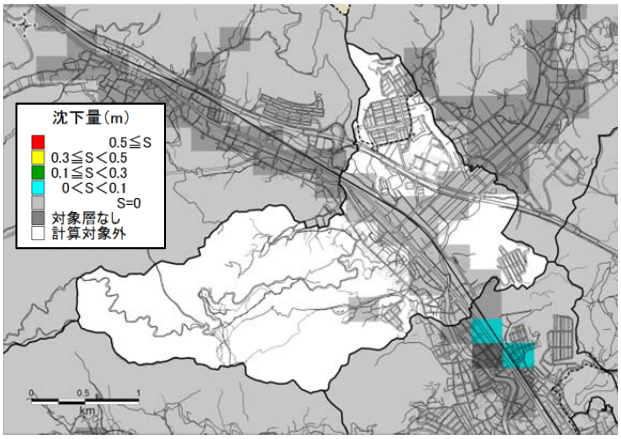
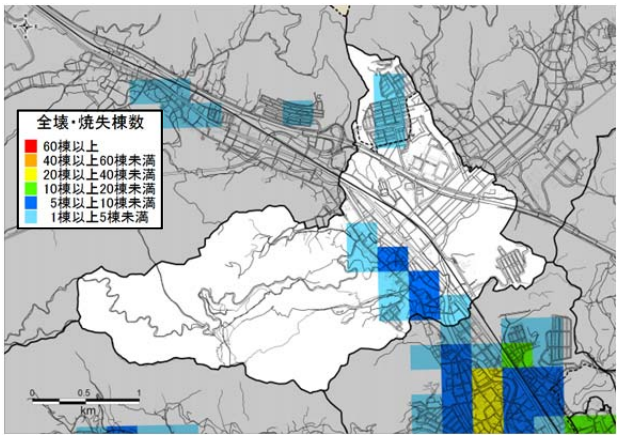
① 震度分布図（250m メッシュ）	② 液状化危険度（250m メッシュ）
	
③ 液状化に伴う地盤の沈下量（250m メッシュ）	④ 建物被害（250m メッシュ）
	

過去地震最大モデル:

・南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで大きいもの(宝永地震、安政東海地震、安政南海地震、昭和東南海地震、昭和南海地震の 5 地震)を重ね合わせたモデル。

－22．赤坂小学校区－
様式 2-2

【理論上最大想定モデルの場合】

① 震度分布図（250m メッシュ）（東側ケース）	② 液状化危険度（250m メッシュ）（東側ケース）
	
③ 液状化に伴う地盤の沈下量（250m メッシュ）（東側ケース）	④ 建物被害（250m メッシュ）（東側ケース・津波ケース 1）
	

理論上最大想定モデル：

・南海トラフで発生する恐れのある地震・津波のうち、千年に一度、あるいはそれよりもっと発生頻度が低いもの。

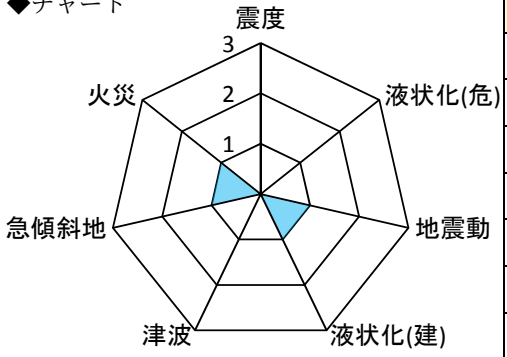
・「命を守る」という観点で想定外をなくすことを念頭に地震対策を講じることが不可欠であることから、あらゆる可能性を考慮して想定した最大クラスの地震・津波モデルとして設定。

８．被害予測の結果（表）

【過去地震最大モデルの場合】

建物被害【冬･深夜発災】 ※()内は、校区の建物棟数に対する割合

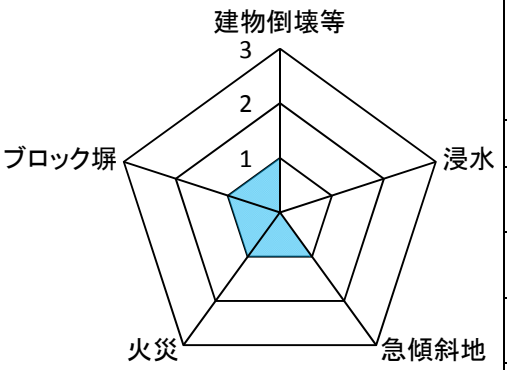
◆チャート



固定資産課税台帳に基づく建物データ (2011 年 1 月 1 日)	全壊・焼失	半壊
地震動	12 (0.5%)	94 (4.0%)
液状化	＊ (0.0%)	＊ (0.0%)
津波	0 (0.0%)	0 (0.0%)
急傾斜地	＊ (0.0%)	2 (0.1%)
火災	＊ (0.0%)	―
建物被害総数	13	96
建物被害率	0.5%	4.1%

人的被害【冬･深夜発災】 ※()内は、校区の人口に対する割合

◆チャート



国勢調査に基づく人口データ (平成 22 年度)	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等	＊ (0.00%)	1 (0.03%)	16 (0.34%)
（うち屋内転倒物・屋内落下物）	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)	2 (0.03%)
浸水・津波	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
急傾斜地崩壊	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)
火災	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)
ブロック塀等の転倒、屋外落下物	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)
被害者数合計	＊ (0.00%)	1 (0.03%)	16 (0.35%)

＊： わずか

チャートの見方

●建物被害

- **震度→震度 6 強以上の面積率**
  「3」：90%以上、「2」：50%以上 90%未満、
  「1」：50%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **液状化(危)→液状化の危険性が極めて高い面積率**
  「3」：65%以上、「2」：18%以上 65%未満、
  「1」：18%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **地震動→揺れによる全壊率**
  「3」：14%以上、「2」：1%以上 14%未満、
  「1」：1%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **液状化(建)→液状化による全壊率**
  「3」：0.1%以上、「2」：0.02%以上 0.1%未満、
  「1」：0.02%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **津波→津波による全壊率**
  「3」：1%以上、「2」：0.2%以上 1%未満、
  「1」：0.2%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **急傾斜地→急傾斜地崩壊による全壊率**
  「3」：1%以上、「2」：0.1%以上 1%未満、
  「1」：0.1%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **火災→火災による焼失率**
  「3」：5%以上、「2」：1%以上 5%未満、
  「1」：1%未満(0%を除く)、「0」：0%

●人的被害

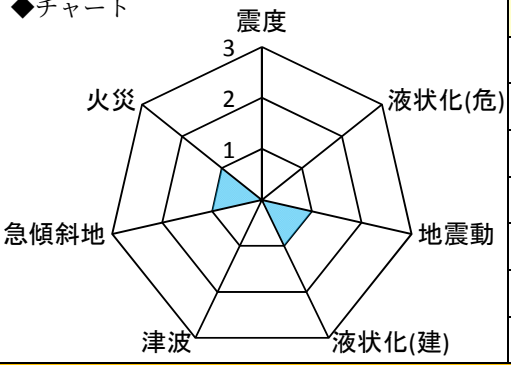
- **建物倒壊等→建物倒壊等による死者率**
  「3」：1%以上、「2」：0.2%以上 1%未満、
  「1」：0.2%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **浸水→浸水による死者率**
  「3」：1%以上、「2」：0.1%以上 1%未満、
  「1」：0.1%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **急傾斜地→急傾斜地崩壊による死者率**
  「3」：1%以上、「2」：0.1%以上 1%未満、
  「1」：0.1%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **火災→火災による死者率**
  「3」：1%以上、「2」：0.1%以上 1%未満、
  「1」：0.1%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **ブロック塀→ブロック塀等の転倒や屋外落下物による死者率**
  「3」：1%以上、「2」：0.1%以上 1%未満、
  「1」：0.1%未満(0%を除く)、「0」：0%

－22．赤坂小学校区－
様式 3-2

【理論上最大想定モデルの場合】　地震動：東側ケース・津波：ケース１

建物被害【冬・深夜発災】 ※()内は、校区の建物棟数に対する割合

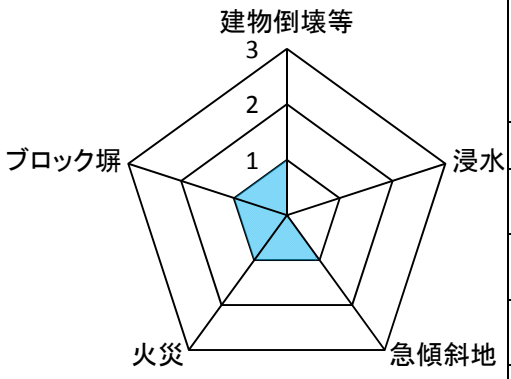
◆チャート



固定資産課税台帳に基づく建物データ (2011 年 1 月 1 日)	全壊・焼失	半壊
地震動	22 (0.9%)	126 (5.3%)
液状化	＊ (0.0%)	＊ (0.0%)
津波	0 (0.0%)	0 (0.0%)
急傾斜地	＊ (0.0%)	3 (0.1%)
火災	6 (0.2%)	―
建物被害総数	29	128
建物被害率	1.2%	5.4%

人的被害【冬・深夜発災】 ※()内は、校区の人口に対する割合

◆チャート



国勢調査に基づく人口データ (平成 22 年度)	死者数	重傷者数	軽傷者数
建物倒壊等	1 (0.02%)	3 (0.06%)	22 (0.47%)
(うち屋内転倒物・屋内落下物)	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)	5 (0.11%)
浸水・津波	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
急傾斜地崩壊	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)
火災	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)
ブロック塀等の転倒、屋外落下物	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)	＊ (0.00%)
被害者数合計	1 (0.03%)	3 (0.06%)	22 (0.48%)

＊： わずか

チャートの見方

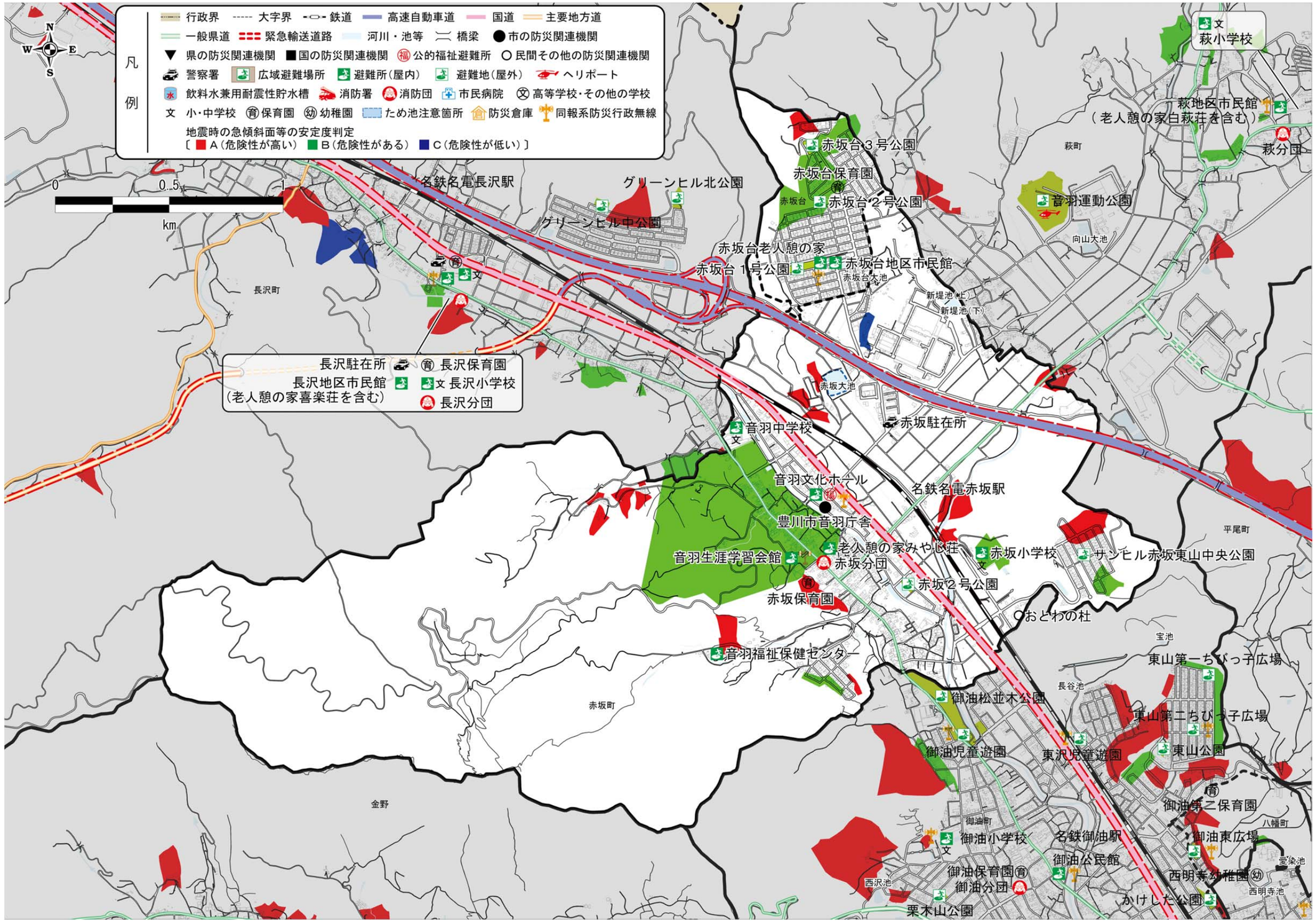
●建物被害

- **震度→震度 6 強以上の面積率**
  「3」：90%以上、「2」：50%以上 90%未満、
  「1」：50%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **液状化(危)→液状化の危険性が極めて高い面積率**
  「3」：65%以上、「2」：18%以上 65%未満、
  「1」：18%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **地震動→揺れによる全壊率**
  「3」：14%以上、「2」：1%以上 14%未満、
  「1」：1%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **液状化(建)→液状化による全壊率**
  「3」：0.1%以上、「2」：0.02%以上 0.1%未満、
  「1」：0.02%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **津波→津波による全壊率**
  「3」：1%以上、「2」：0.2%以上 1%未満、
  「1」：0.2%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **急傾斜地→急傾斜地崩壊による全壊率**
  「3」：1%以上、「2」：0.1%以上 1%未満、
  「1」：0.1%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **火災→火災による焼失率**
  「3」：5%以上、「2」：1%以上 5%未満、
  「1」：1%未満(0%を除く)、「0」：0%

●人的被害

- **建物倒壊等→建物倒壊等による死者率**
  「3」：1%以上、「2」：0.2%以上 1%未満、
  「1」：0.2%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **浸水→浸水による死者率**
  「3」：1%以上、「2」：0.1%以上 1%未満、
  「1」：0.1%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **急傾斜地→急傾斜地崩壊による死者率**
  「3」：1%以上、「2」：0.1%以上 1%未満、
  「1」：0.1%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **火災→火災による死者率**
  「3」：1%以上、「2」：0.1%以上 1%未満、
  「1」：0.1%未満(0%を除く)、「0」：0%
- **ブロック塀→ブロック塀等の転倒や屋外落下物による死者率**
  「3」：1%以上、「2」：0.1%以上 1%未満、
  「1」：0.1%未満(0%を除く)、「0」：0%

９．防災関連施設分布図


凡例
行政界
大字界
鉄道
高速自動車道
国道
主要地方道
一般県道
緊急輸送道路
河川・池等
橋梁
市の防災関連機関
県の防災関連機関
国の防災関連機関
公的福祉避難所
民間その他の防災関連機関
警察署
広域避難場所
避難所（屋内）
避難地（屋外）
ヘリポート
飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署
消防団
市民病院
高等学校・その他の学校
小・中学校
保育園
幼稚園
ため池注意箇所
防災倉庫
同報系防災行政無線
地震時の急傾斜面等の安定度判定
〔 A（危険性が高い） B（危険性がある） C（危険性が低い）〕
0 0.5 1 km
名鉄名電長沢駅
グリーンヒル北公園
グリーンヒル中公園
長沢町
長沢駐在所
長沢保育園
長沢地区市民館
（老人憩の家喜楽荘を含む）
長沢小学校
長沢分団
赤坂台３号公園
赤坂台保育園
赤坂台２号公園
赤坂台老人憩の家
赤坂台１号公園
赤坂台地区市民館
赤坂台大池
新堤池（上）
新堤池（下）
赤坂大池
赤坂駐在所
音羽中学校
音羽文化ホール
名鉄名電赤坂駅
豊川市音羽庁舎
音羽生涯学習会館
老人憩の家みやび荘
赤坂分団
赤坂小学校
サンヒル赤坂東山中央公園
赤坂２号公園
赤坂保育園
おとわの杜
音羽福祉保健センター
赤坂町
金野
萩小学校
萩地区市民館
（老人憩の家白萩荘を含む）
萩分団
萩町
音羽運動公園
向山大池
平尾町
宝池
東山第一ちびっ子広場
長谷池
御油松並木公園
東山第二ちびっ子広場
御油児童遊園
東沢児童遊園
東山公園
御油第二保育園
御油町
八幡町
御油小学校
名鉄御油駅
御油東広場
御油公民館
西明寺幼稚園
愛染池
西明寺池
西沢池
御油保育園
御油分団
かけした公園
栗木山公園